

国道180号の路側帯にポストコーン 安心して通学できるように

総社中央小学校の児童をはじめ子どもの通学路である国道180号溝口交差点付近の路側帯にポストコーンが設置されました。この設置工事は、通学路における交通安全の確保を図るために実施されたものです。

昨年、全国で登下校中の児童などの列に自動車が入り込み、死傷者が出る事故が相次いで発生。そのことを受け、市教育委員会と国道事務所、総社警察署、学校関係者、土木担当員などが合同点検を行い危険箇所を確認しました。その後、地域住民らと意見交換をし、安心して利用できる歩道への改善策について協議を重ねました。その結果を基に国道事務所はポストコーンを設置。この場所を通学する児童や生徒の安全・安心につながっています。

同場所は交通量は多いにもかかわらず、路側帯も狭くガードレールや縁石もない区間でした。



ポストコーンが設置された路側帯を歩いて登校する総社中央小学校の児童

回収場所	回収時間
市役所環境課 山手支所 清音支所 昭和出張所 西出張所 北出張所	平日 8:30～17:15
東公民館 西公民館	8:30～17:15 (月曜日を除く)



総社市ごみ減量化作戦連合協議会の委員が雑がみを回収。これらの雑がみが資源回収業者に引き取られ、交換される市指定ごみ袋の資金となります

これまでと同じく左上の表の通り、市内8箇所で行われます。ただし、山手支所に持ち込みできないのは山手地区に限られます。また、新聞紙やチラシ、雑誌、段ボール、紙パックなど雑がみ以外のものは回収できませんので、注意してください。

総社市ごみ減量化作戦連合協議会が平成24年10月から開始した雑がみと市指定ごみ袋の交換は、

さらなるごみ減量への効果が期待できるため、平成25年1月以降も継続して行います。

これまでも同じく左上の表の通り、市内8箇所で行われます。ただし、山手支所に持ち込みできないのは山手地区に限られます。また、新聞紙やチラシ、雑誌、段ボール、紙パックなど雑がみ以外のものは回収できませんので、注意してください。

雑がみ2kgを30リットの市指定ごみ袋と交換します

ごみ減量

雑がみ交換を継続

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎92-83338)

障がい者ワークわくそうじゃ

就職面接会

日時・場所

1月30日(水) 14:00～16:00
サンロード吉備路

参加無料
当日参加OK

市内の企業やA型事業所など約15社が参加します。参加希望者はハローワーク総社が福祉課に申し込んでください。

申込み先・問い合わせ

ハローワーク総社 (☎92-6001)
福祉課障がい福祉係 (☎92-8269)



負傷者の応急手当をする吉備医師会の医師と消防署職員



バケツリレーを行う自主防災組織の地頭片山自治会

訓練の積み重ねが災害時の行動力となります。訓練を振り返り市長は、「もしものときに備え、予期できない訓練をし、防災力をつけていこう」と講評しました。

策本部が、警察や自衛隊への出動要請、避難所の開設などの指示を出す実戦的な訓練を行いました。衝突事故車両からの負傷者の救出、炊き出し、応急救護処置、地元住民らによる初期消火などの訓練も実施。また、避難勧告の出た西郡と岡谷地区の住民は、開設された避難所に避難し、宿と西坂台地区の住民は自主避難しました。



大型車両の衝突事故から負傷者を救助する消防署職員



被害状況を調査し、指示を出す災害対策本部



陸上自衛隊による倒木処理

訓練が生きるにつながる

防災力

「想定外」を「想定内」に

万一の地震災害に備え市や県、警察、消防、自衛隊、自主防災組織など14団体から約500人が参加し平成24年11月25日、山手小学校と岡谷分館、西郡分館などで防災訓練

を実施しました。訓練は、市内で震度6弱の地震が発生し、家屋の倒壊をはじめ、火災事故や多数の負傷者が発生したとの想定。さまざまな被災情報を基に災害対